

日吉台地下壕保存の会

会報

会計のお問い合わせ：白鶴邦子 港北区下田町1-4-14 045-563-3760
 その他のお問い合わせ：喜田美登里 港北区下田町2-1-33 045-562-0443

各地の戦跡保存の取り組みを
報告するペリストラ



戦跡保存に向け、貴重な意見や問題提起が相次いだ
戦跡シンポジウム=南風原町中央公民館

目次	ページ
第2回戦争遺跡保存全国大会	1~3
第6回横浜・川崎平和のための戦争展 報告とお礼	4
同 アンケート(感想)集	5~6
会計を担当して	4
「98平和のための戦争展 かながわ」を終って	6

第47号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL. 045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込口座番号 00250-2-74921

(加入者名) 日吉台地下壕保存の会

戦跡シンポ

アジア・太平洋の視点も必要

「戦争遺跡を戦争体験を継承する教材として積極的に活用すべき」「戦跡の関連性を国内、アジア・太平洋の視点で見ることが大切」。二十一日、南風原町で開かれた「第1回戦争遺跡保存シンポジウム」。戦後五十三年を迎えた戦争遺跡が年々減る中で、新たな「語り部」としてクローズアップされる戦争遺跡。シンポでは、全国各地で戦跡の保存活動に取り組む自治体や市民団体の代表から、戦跡保存や文化財指定に向けた貴重な意見や問題提起が相次いだ。シンポの後に開かれた三つの分科会では、それぞれのテーマに沿って、戦跡保存の在り方を論議した。

沖縄タイムス

98・6・23より

連載日吉台地下壕 当時の関係者の思い出話25	7
運営委員会報告	8

神奈川の現状と課題

歴史と記念

全国シンポに向け一

渡辺 賢一

○30

戦前の神奈川県には首都防衛のため海岸から内陸にかけて数多くの軍事施設があった。

特に、米軍がアリーナ諸島から直接B29など空襲してくるようになると、一九四四年からは本土決戦のための軍事施設が多くなり

た。壕は一九四四年七月にかの掘り出された。九月末からは連合艦隊司令部がはいり、長官、幕僚たちが丘の上から指揮をとり、暗号隊と通信の兵士がこの地下壕で仕事を行っていた。そして、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

いていた。そこで、いじかり、し

下壕 台吉 日

会員600人で保存運動

沖縄戦との関連多い

つた。神奈川県が現在、沖縄戦に次ぐ第二に米軍基地の多い県となつているのも、また、地下壕が異常に多いのもそのためである。

それらの軍事施設の中で戦跡保存運動が起つていい例を紹介したい。

第一は吉田地下壕（神奈川県横浜市）保存運動である。十年前から保存の会がつくれられ現在六百人の会員を擁して地道な活動を続けている。保存を求めている地

の労働者が動員され、その中には約七百人の朝鮮人労働者も含まれていた。現在、地下壕の入り口付近が開発により破壊の危機に瀕しているが、国や地方自治体による文化財指定と保存が急務となつていていた。

日本古墳地下壕から北西約二キロ

メートルには風船爆弾が本土三才丸の墓地からアメリカに向け打ち上げられていたのである。考古研究所で開発された風船爆弾が沖縄戦と同様、「國体護持」に固執しつつ本土決戦を遅らせる作戦として実施されたのである。明治大学人

文科学研究所では三十年にわたりこの研究所の研究を行ってきたがその研究成果の公表と保存が期待されている。

神奈川県の戦争遺跡をみると沖縄戦と関連性をもつてゐるのが多い。それぞれの遺跡の特徴を分析するひとつの沖縄戦との関連を深めて保存運動がめぐらしある。そこで、その会員の会がつくれられると、吉田地元全体では延べ約五百点を超えるものである。掘削には当初、戦局悪化とともに爆撃にも耐えられる「耐強度爆弾」の壕がつくれられた。これが今も残る地下壕で

ある。いじかり、台湾沖戦やつりいじかり、沖縄戦、沖縄戦などの受信が行われ、ケーブルで日吉の連合艦隊司令部に伝えられた。当時勤務していた武沢文夫さんの話では「沖縄戦の苦境も刻々入ってきていた」といふ。この地下壕はマニン建設のため破壊の危機に直面したが保存の会の熱心な運動で市有地と交換して一部分をのぞき現況保存ができた」となつた。現在、文化財指定と保存・公開を求める運動が行われている。

第三は、旧陸軍登記研究所（神奈川県川崎市）の保存運動である。動物標本や木造建物二棟な

のである。多くの若者がここから出された命令によってわだつみに消えていった。地下壕の長さは、現在の慶應大学日吉のキャンパス下だけで約二・五キロもあり、田吉周辺全体では延べ約五キロを超えるものである。掘削には当初、海軍設置隊があつたが人手不足のため一九四四年十月からは民間

で陸軍中野学校と運動したものが陸軍の秘密戦のためにつられたもので陸軍中野学校と運動したものであった。秘密戦の人的養成が中野学校でなされその秘密要員がつかれ兵舎は「陸軍研究所」で

戦跡保存全国ネットワーク報告

1998.7.19 新井揆博

第2回戦争遺跡保存全国シンポジウムが、6月21日・22日の2日間、沖縄県那覇市南風原町で、全国から430名の参加によって行われました。全国各地での戦争遺跡の現状と、保存と、活用に向けて私たちの運動課題と方向性について話されましたが、画期的な集会になりました。（略）

昨年7月、長野県松代で第1回戦争遺跡保存全国シンポジウムが開催され、「戦争遺跡保存全国ネットワーク」が結成されました。

もちろん結成されるまでには前史として沖縄県南風原町の取り組みなど運動の蓄積があったからです。沖縄の一つの町、人口がわずか3万人の南風原町が全国で初めて1990年に戦争遺跡を町の文化財に指定したことから始まります。その町では、南風原陸軍病院壕を文化財として指定するにあたって、3つの基本理念を示しています。そのうちの一つに、壕の文化財としての価値について確認していますが、その理由として「南風原陸軍病院壕は戦争の悲惨さを教える歴史の生き証人」と明言することで、従来の「正の遺産」という文化財に対する考え方から、戦争に起因する「負の遺産」も文化財として価値があるという新しい概念を示しました。すなわち、アジア。太平洋戦争での沖縄戦を抜きに南風原の歴史は語れない、その象徴としての病院壕の存在は町民にとって掛け替えのない共有財産であるということを示したのです。（略）

文化庁は1995年3月に「特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準」の一部を改正し、第二次世界大戦終結頃までの政治・経済・文化・社会等あらゆる分野における重要な遺跡を史跡指定の対象にしました。これによって広島の原爆ドームは国の史跡に指定され、96年12月に「世界遺産」に登録されたのです。

現在、全国で文化財に指定されている戦争遺跡は、国の指定が1件（広島）、市指定3件（宇佐市・東京都東大和市・茂原市）、町指定1件（南風原）、村指定2件（沖縄上野村・群馬県東村）を数え、少しづつではありますが年々増加しています。（略）

このシンポジウムでは、戦争遺跡の保存運動の課題として、基調報告の中で6点にわたくて提起されました。それは①戦争遺跡の調査・研究の促進、②戦争遺跡の学習・保存運動の拡大③戦争遺跡の文化財指定・登録の拡大、④保存活用方法の検討、⑤平和博物館建設運動との連携、⑥戦跡の調査・研究・保存対策への公的援助などの提起でされました。（略）

全国ネットワークとしては、地方公共団体が、地域の戦争遺跡を文化財として認知して文化庁に報告するとともに、独自に保存と史跡指定の術を講ずることを強く求めていくことを確認しました。また、大会アピールにも示しましたが、戦争遺跡について保存のための保存に終わることではなく、戦争の真実を学び平和を考えるための史跡として、戦争遺跡をどのように活用するかについても広く市民の声を聞きながら積極的に対応することを確認致しました。私たちは、平和を願う全国の皆さんと力を合わせて運動に取り組んでいきたい所存です。どうか皆さんよろしくお願ひ申し上げます。

賛同者の皆様

『第6回 横浜・川崎 平和のための戦争展』 — 報告とお礼 —

まだまだ暑い日が続いております。

皆様におかれましては御健勝で御活躍の事とお慶び申し上げます。

去る7月18、19日「第6回 横浜・川崎 平和のための戦争展」は両日共に大勢の方々のご来場を頂き、成功裡に終える事が出来ました。ひとえに御賛同下さいました皆様方の御力添えの賜物と心よりお礼申し上げます。

有り難うございました。

戦後53年も過ぎ、戦争の実相を語り伝えるのも「人からモノ」の時代に移りつつあります。平和を願う、形ある教材として重要な戦争遺跡の保存を強く訴える活動を、これからも進めて参りたいとおもいます。

御支援 御協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

「第6回 横浜・川崎 平和のための戦争展」実行委員会

代表 白井 厚

1998年8月30日

下記 会計報告致します。

収入の部		支出の部	
前回繰越し金	34,493	会場費	16,830
賛同金	201,770	運営費	74,919
カンパ	106,457	事務通信	95,544
資料代	2,300	印刷費	10,520
雑収入	1,050	材料費	6,292
		交通費	33,955
		謝礼	73,000
計	346,070	計	311,060

346,070 - 311,060 = 35,010

次回繰越し金 35,010 円

有り難うございました。

~~~~~

戦後も五三年がすぎ、戦争体験者が年々減る中で、過去の事実を伝えるものは「ヒトからモノ」への時代へと変つて来ています。陸軍戸籍研究所、蟹ヶ谷の地下壕と合せ、日吉台地下壕の保存は、戦争遺跡に込められた歴史の中から、平和を願い、命の大切さを学ぶ生きた教材として、大きな役割があるのでないでしょうか? 保存の現実へ向けてゆかなければならぬのではと痛感いたしました。益々のご協力よろしくお願ひいたし

会計を担当して

幹事 白鶴 邦子

いつも会費納入ありがとうございます。皆様方のご理解あるご協力で会の活動が続いていること、心よりありがとうございました。お礼申し上げます。

## 横浜・川崎平和の

## ための戦争展

## アンケート

## (感想相談) 集束

★貴重な資料の展示ありがとうございます。何よりも学生さん達の熱心な説明にはとても嬉しいと思いました。

先日は日吉台地下壕を見学して、実際に訪れて自分の目で

見ることの大切さを痛感しました。是非これらの跡地が文化財として保存され、沢山の人が訪れて平和のこと戦争のことを考えられるようにと願っております。

五〇代女

て始まった事を、歴史の教訓としなくてはならないと思つています。昨年、湘南地域で開催される予定であった「戦争展」（中国を中心とした）が右翼街宣車の轟しにより中止に追い込まれ、今年、横浜で上映された「南京一一九三七」のスクリーン断裁による打切り等、非常に懸かで、卑劣な暗い勢力が浮上しつつあるようです。多くの日本人は、世相が悪くなつてると、思考停止がますますひどくなり、情緒的な旧い右翼思想（「日本民族が世界一純粹で優れている!」「日本が悪くなるのは、諸外国の干渉による!」等）が、川底に堆積している汚物のように淀み出しています。非力ながら、私も細々と考へること、と活動を続けていますので、若い方々中心に頑張つてください。

四〇代女

★特攻隊の先輩諸兄の冥福を祈るばかりです。

最近の日本が、不景気と先行き不明の不安から、またぞろじ地球上にいる人じやないか変テコな国家理論が一人歩きし出します。そんな中で高校生の皆様が私たちにしつかりとした「言葉」と「考え方」を披露してください、感動しました。大人達も負けないで、しっかりとしなくてはと自戒しました。ありがとうございます。

六〇代男

★高校生や大学生の話はなかなか内容豊で面白かった。

展示についてはアジアの人たちがどう見ているかという視点も出して欲しいと思います。

五〇代男

### 「98平和のための戦争展 かながわ」を終つて

幹事 佐相 康雄

去る八月一三日（木）から

一八日（火）にかけて、横浜市民ギャラリーに於て、標記

ことはユダヤ人を人だと思つていなナチスのことです。

ユダヤ人だろうが肌の色が黒や白や黄色だろうがすべて同様地球上にいる人じやないかと思つた。仲良く平和な世界になつて欲しい。一六歳男

ユダヤ人だろうが肌の色が黒や白や黄色だろうがすべて同様地球上にいる人じやないかと思つた。仲良く平和な世界になつて欲しい。一六歳男

田吉台地下壕保存の会でも、この催しに参加し、写真、パンフレットを出展しました。今年は展示スペースが限られていたこともあって、田吉台地下壕を知る上で重要ななものばかりを展示しました。

この「戦争展」期間中に

「終戦記念日」があり、同日に「記念講演会」も開かれました。講演は旧海軍工廠で働いていた元台湾少年工の方々



神奈川新聞98.7.19より

★豊昭学園の発表を聞いて、僕も戦争について調べてみようと思いました。一五歳男

の県）であつて、講演や展示も多くがその実相・実像を現わしていました。

夏休み期間中とも重なつたせいか、多くの来場者があり、盛況のうちに無事に終了しました。

連載

日吉台地下壕

当時の関係者の

思い出話 25

強制買収された土地の返還

★A1氏・宮前

戦後間もなく、土地は返還された。戦災後、バラックを建ててもう少し西に住んでいたが、返還後ここに移った。

★K1氏・箕輪

強制買収された土地は、登記がしてなかつたので、そのまま返して貰つた。金は返却した。

★K2氏・箕輪

戦後二四～二五年に、買上げられた土地を坪五円で払つた。二円という安い値段で強制的に買上げ、今度は五円で貰戻せと言う。腹が立つたが、

買取らなければ競売にかけると言うので、否応無しに買取らざるを得なかつた。

また、勝手に軍が建てた使

いようのないカマボコ兵舎も買取れと言われ、これも競売すると嚇され仕方なく買取つた。

さらに昭和三〇年代に入つて、軍が荒した畠が荒れたままになつてゐたのを、市役所の役人が来て、雑地（最も税が高い）として課税すると言つて、「戦争中、軍が荒したもので、元の状態に国がしてくれたら作物をつくるから」と言い、「どうしても、雑地にするなら裁判で争う」といふと「裁判になつたら、自分の首がとぶから」と言って、農地のままにした。

海軍が他人から買上げた土地に家が移動させられたりした

が、地主は困つてゐる。

戦後、かつての自分の土地

が払い下げられる時、地下壕から出た土で田圃が埋められ、

境界がはつきりしなかつたり、

海軍が他人から買上げた土地

とじたが生じるので、タ

ブーになつてゐる。

戦後いつの頃か、市役所の役人が戦中・戦後の調査にやつて來たが、何れもこの問題

に対するなら裁判で争うといつた。

地下壕から出た土で田圃が埋められた所に、土地の所有権などお構いなしに移転させたので、戦後土地の所有権をめぐつてもめた。以前は、地

境にはウツギの木が植えられていたが、地下壕から掘り出

した土を捨てたために地境が

分らなくなつてしまつたのである。今は耕地整理によりき

ちんとなつてゐる。

我が家の北東側の丘の麓に赤い屋根の家があるのは、設営隊の兵士の炊事場だった所

で、未だに通産省のものであ

り（昭和六二年現在）、壊す

ことも出来ず放置されている



崩落した地下壕入口

金は返さなかつた。

強制買収された土地は、登記されていなかつたので、戦

後、申請して返して貰つた。

（生協ニュース教職員版第四

運営会員登録口

保存全国NW - 谷藤、会報作

六月二四日午後四時半、

第一回

成・印刷・封筒宛名 - 中沢・

会報発送作業の後委員会

五月六日午後六時半、

大西・林

報告（見学会）

下田小学校コミニティスクール

二、保存の会住所 - 寺田宅

一、四月五日旧制高校同窓会

資料（活動報告・方針案）作成 - 寺田、亀岡、喜田

三、会計のお問い合わせ - 白鶴

その他は - 喜田

議事

一、役割分担

四、今年度の活動

二、五月一七日品川区役所職員

議事

\*総務・記録、運営委員会案

\*横浜・川崎平和のための戦

員一〇数名参加

議事

内・会場設定・レジメ、総会

\*横浜・川崎平和のための戦

争展開催団体になる

の友人グループ - 一名参加

資料（活動報告・方針案）作成 - 寺田、亀岡、喜田

\*戦争展よこはま参加

三、六月八日く九日NHK沖

二、七月一七日福岡読売新聞

\*会計・会費徴収、会員名簿

\*戦争展かながわ参加

約二〇名参加

記者戦跡保存の記事取材

管理、封筒に発送元印を押す、

\*戦跡保存全国NW参加

四月二三日午前八時三五分、

一、七月五日宮前市民館職員

総会資料（会計報告・予算案）

\*赤れんが倉庫に平和博物館

六月二三日午前八時三五分、

二、七月五日宮前市民館職員

作成 - 白鶴

\*赤れんが倉庫に平和博物館

六月二三日午前八時三五分、

三、七月五日宮前市民館職員

\*その他・戦争展よこはま、

\*会報の発行年四回程度

四月二三日午前八時三五分、

四、七月五日宮前市民館職員

寺田、赤れんが倉庫 - 寺田、

\*近現代史講座 - 三〇名参加

五月二三日午前八時三五分、

五、七月五日宮前市民館職員

戦争展かながわ - 佐相、戦跡

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

六、七月五日宮前市民館職員

第二回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

七、七月五日宮前市民館職員

第三回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

八、七月五日宮前市民館職員

第四回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

九、七月五日宮前市民館職員

第五回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

十、七月五日宮前市民館職員

第六回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

十一、七月五日宮前市民館職員

第七回

\*戦争展かながわ - 佐相、戦跡

六月二三日午前八時三五分、

十二、七月五日宮前市民館職員

台存吉保問  
1998日  
地下の会  
本辺井辺戸藤島郷  
秋田薄田永佐鮫東

報告（見学会）